

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	825
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	4021	1	担当部課名	総合政策部地域分権・協働課	
				担当課長名	酒井 一彦

1 事務事業の概要

施策名	コミュニティの活性化				
第1期実施計画の事業名	地域集会施設助成事業				
財務会計上の事業名	地域集会施設助成事業				
事業の対象【誰(何)を】	自治会町内会等地域組織に対して				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	自主的に運営している集会施設の助成を実施することで				
事業の目的【どのような結果を得るか】	共同利用施設等の会館との公平性を図る。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和58年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	助成金を45,000円から35,000円に減額				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入					

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		1,426	1,400	1,400	1,200	100.0%		
内訳	人件費(人・千円)	0.10	800	0.10	800	0.07	546	0.07	546	70.0%
	正職員	0.10	800	0.10	800	0.07	546	0.07	546	70.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			2,226		2,200		1,946		1,746	88.5%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		2,226		2,200		1,946		1,746	88.5%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	助成団体数	団体	41	40	40	40	40
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	各施設の年間利用者数は、小規模ながら比較的利用率も高く、コミュニティ作りの推進に寄与している。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	助成金の交付決定は市で判断すべき内容。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
財政状況はきびしいが、現在の水準は最低でも維持するべき	縮小・廃止の検討が必要